が、日向駅にバスが入るのが18時59分、下り電車の到着を待って、バスが玄関へ向かうということです。これをお尋ねの19時12分までここで待つということになると、18時40分の電車で着いた方々は、30分以上待つことになり、ここの兼ね合いだと思っている。

●消防行政について

Q　指令センターの統合計画について伺う。

A　総務課長　消防指令業務の共同運用を推進するために、共同指令センター整備計画を、平成20年11月に策定した。

この計画では、県内を2つのブロックに分け、山武郡市広域行政組合の消防本部が加わる北東部、南部ブロックにあっては、千葉市消防局が整備主体となり、その他の地域が対象となる北西部ブロックについては、松戸市の消防局が整備主体となって、整備を進めることになる。平成25年度から共同運用の開始を目指して、共同指令センターの整備を進めていくことになっている。共同指令センターが整備されると、ブロック内の119番通報については、すべて共同指令センターに入電することになり、今は消防本部ごとに出動命令が出ているが、今後の対応は、共同指令センターがすべて統括し、より災害現場に近い消防署に出動命令が出るなどの対応になるので、消防業務や救急業務がより効率的に行われる形になる。　また、共同整備することにより、装備の充実を図りながら、経費と人員の節約を図るというメリットが出てくると聞いている。構成団体の山武市としても、推進していきたいと見守っている。

A　市長　昨日の広域行政組合の議会に、私と議長が山武市の議員として出席したが、千葉県消防救急無線広域化・共同化及び消防指令業務共同運用推進協議会についての条例を可決した。

Q　指揮隊の計画について伺う。

A　総務課長　指揮隊については、災害現場の状況に応じて的確な判断と指示を行うことを目的に、消防署ごとに設置されるもので、1隊当たり3名以上の隊員を必要とすることから、交代で任務にあたるので、それぞれ9名程度の職員が必要になる、管内3カ所の消防署があり、合計27人からの職員を確保する必要がある。

現在、指揮隊は整備されておらず、指揮隊の整備に向け、山武郡市広域行政組合の消防職員の定数の増員を、今年度中に条例改正するということで、昨日、上程されたと聞いている。

Q　千葉救急医療ネットの万全な体制づくりと山武郡市広域行政組合の救急車へのAVM（車両動態表示システム）の導入、現在の救急車のカーナビの地図を最新版に取りかえていただきたいがいかがか。

A　市長　御提案をいただきましたことにつきましては、私のほうから、行政組合のほうにお伝えを申し上げます。

●税について

Q　固定資産税の評価漏れの調査、課税に関しての現状について伺う。

A　市民部長　合併以前より旧町村で家屋の評価漏れがあることを認識していたので、平成19年4月から平成20年5月にかけて調査を行い、未評価家屋の棟数が1万1千棟あるものと特定した。

これらの未評価家屋の調査は、当初6班体制により、2年間で終了させる予定でいたが、人員確保の関係から3班体制の6名でスタートした。平成23年度末で全域を終了する予定で進めている。

評価済み家屋の課税については、評価が終了し次第、随時課税させていただいており、当初の調査予定期間が長引き、課税が遅れていることがいなめない事実である。

Q　調査終了後、順次課税されている。3年目に入っているが、税の公平性という観点からこれ以上長引かないように、職員の増員も含めて23年度中に終わるようにしなければいけないと考えるがどうか。

A　市長　議員御指摘のように、できる限り早く完了するように努めていく。

●公共施設の利用料金について

Q　教育委員会所管の公共施設の利用料金について、生涯学習課所管の施設については平成23年3月いっぱいでやめる減免制度について、復活をしていただけないか、スポーツ振興課所管の施設は65歳以上の方には、減免制度をもう一歩深めていただけないか伺う。

A　教育長　社会教育施設については、現在、高齢者に関する減免規定はないが、速やかに教育委員会内で協議をして、社会体育施設と同じような規定を設けて支援をしていきたい。スポーツ施設に限っては、免除規定はなく、料金改定とともに、2分の1の減免がされていますが、特に変わることはありません。

個人質問

小野﨑正喜　議員

●財政全般について

Q　独立都市と財政の結びつきをどのように考えているのか。

A　市長　独立都市という表現は、財政的な独立まで指しているものではありませんが、独立と言うからには、独立にふさわしい経済的な力、地域の力もなければならないと思います。山武市は、大変財政的には厳しい状況にあるので、財政の健全性を、ここ10年程度の見通しを立てながら、破綻に陥らないように組み立てています。